

学校教育目標	自立貢献 ～自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することのできる生徒の育成～
--------	---

a ミッション	小中連携教育を基盤とした確かな学力の育成	a ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・向上心を持ち、自ら学ぶ意欲的な生徒を育成する。</li> <li>・規範意識を身に付け、自他を大切にできる生徒を育成する。</li> <li>・自己を認識し、将来の夢や目標を立て、その達成に向けて計画ができる生徒を育成する。</li> </ul>
---------	----------------------	--------	---

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画	
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月 g 達成率	1月 g 達成率	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			m 改善案
				イ	ロ	ハ	l コメント						
確かな学力の育成	豊かな関わり合いのある授業を創造し、生徒の思考力・表現力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科が作成した「話し合いサポートシート」を活用した授業研究を行い、学び合いを充実させる。</li> <li>・各教科・各領域において、学習目標達成を見取る手立てとして、学び合いの場を設定し、思考力・表現力を育成する。</li> </ul>	1人1回、作成した「話し合いサポートシート」を活用した学び合いのある授業提案を行い、その効果を協議会で検証する。	100%									
			学校評価生徒アンケート「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた。」に肯定的に回答する生徒の割合（令和7年7月本校84%）	85%									
豊かな心と健やかな体の育成	<p>リーダーの育成と、お互いを認め合える集団づくりを進める。</p> <p>自己を認識し、自分の将来の夢や目標を持つことができる生徒を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒リーダーを中心として学校行事や地域行事への積極的な参加を行う中で、生徒の自己肯定感と自己有用感を高める。</li> <li>・デイリーライフによって生徒の起床時間、学習時間、就寝時間を確認し、担任や学年の教員を中心にサポートを行う。また、課題のある生徒に対しては定期的に生活習慣を振り返らせ、規則正しい生活を送ることへの意識を高める。</li> </ul>	学校評価生徒アンケート「自分には良いところがあると思う。」「自分の良さを周囲の人に認められていると思う。」に肯定的に回答する生徒の割合の平均（令和7年7月本校65%）	75%									
			学校評価生徒アンケート「起きる時刻と寝る時刻を決めて、毎日それを守って規則正しい生活をしている。」に肯定的に回答する生徒の割合（令和7年7月本校74%）	75%									
学校における働き方改革	教職員が、本校に勤務して良かったと思える環境を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の学校経営会議で行事の精選や、スクラップ&amp;ビルド、業務分担の見直しや、進捗調整等を行う。</li> <li>・毎月の衛生懇話会で、全教職員の時間外勤務時間を分析し、勤務時間の長い教職員への取組を話し合う。</li> </ul>	働き方改革アンケート「生徒と向き合う時間が確保されている」に肯定的に回答する教職員の割合（令和7年6月本校100%）	100%									
			「時間外勤務時間月45時間以下の教職員の割合」（令和7年6月市中学校平均35%）	50%									

【自己評価 評価】  
 A：100≦（目標達成）  
 B：80≦（ほぼ達成）<100  
 C：60≦（もう少し）<80  
 D：（できていない）<60

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。 ハ：わからない。